



No.47
2016.11.1

伊賀市議会 だより

バイオサイエンス部
桜丘高等学校
クイズ研究部



一般会計435億20万円の成果を審査・認定

決算は議長、監査委員を除く全議員で構成する決算常任委員会に付託され、9月14日・15日の2日間にわたって審査し、27日の本会議で認定しました。

(万円未満四捨五入)

基金(預金)

●一般会計	残高142億6,583万円
●特別会計	残高 37億4,293万円
●財産区	残高 2億7,418万円
<合計>	残高182億8,294万円 (対前年度比 15億4,196万円増)

市債(借金)

●一般会計	残高553億 243万円
●特別会計	残高170億 765万円
●企業会計	残高179億4,004万円
<合計>	残高902億5,012万円 (対前年度比 27億5,388万円減)

平成27年度決算のあらまし

一般会計

歳入	448億6,919万円 (対前年度比 22億1,130万円減) 主な要因 繰入金の減	歳出	435億20万円 (対前年度比 24億2,495万円減) 主な要因 普通建設事業費の減
----	--	----	---

特別会計

	国民健康保険事業	住宅新築資金等貸付	駐車場事業
歳入	116億7,408万円	3,060万円	3,789万円
歳出	117億1,064万円	1億2,276万円	3,738万円
	介護保険事業	農業集落排水事業	公共下水道事業
歳入	102億1,421万円	12億7,310万円	9億4,216万円
歳出	99億 754万円	12億2,040万円	8億8,177万円
	後期高齢者医療	その他(2会計)	財産区(2会計)
歳入	10億5,934万円	3,773万円	4,356万円
歳出	10億3,788万円	3,547万円	4,168万円

公営企業会計

		病院事業	水道事業
収益的収支	事業収益	40億7,907万円	37億5,404万円
	事業費用	43億 48万円	32億6,536万円
資本的収支	資本的収入	1億9,825万円	7億9,376万円
	資本的支出	3億 945万円	20億8,574万円

監査委員の 審査意見要旨

おおむね適正な執行状況であると認められる。

一般会計をはじめ大多数の特別会計はいずれも黒字決算であり、財政健全化判断比率においても国の定める基準を十分クリアしており、堅実な財政運営に努めていると認められる。しかし、今まで以上に効率的・効果的な行財政運営とあらゆる分野における歳出の削減・抑制は不可欠であり、中長期的な財政計画のもとで、これらを着実に実施していくことを求める。

なお、市民サービスの重要な財源である市税および公課については、収納率の更なる向上に努めることを強く求める。

(監査委員 鈴木陽介・赤堀久美)

審議した議案と各議員の賛否(決算)

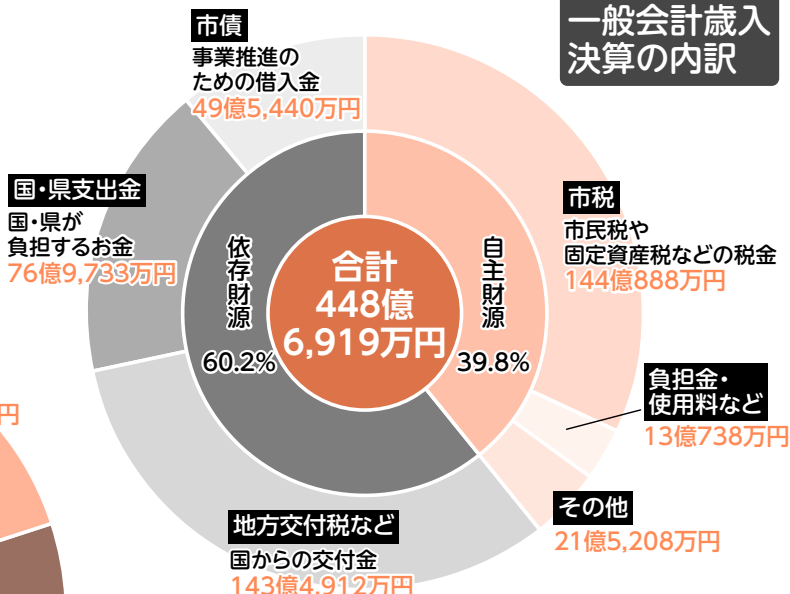
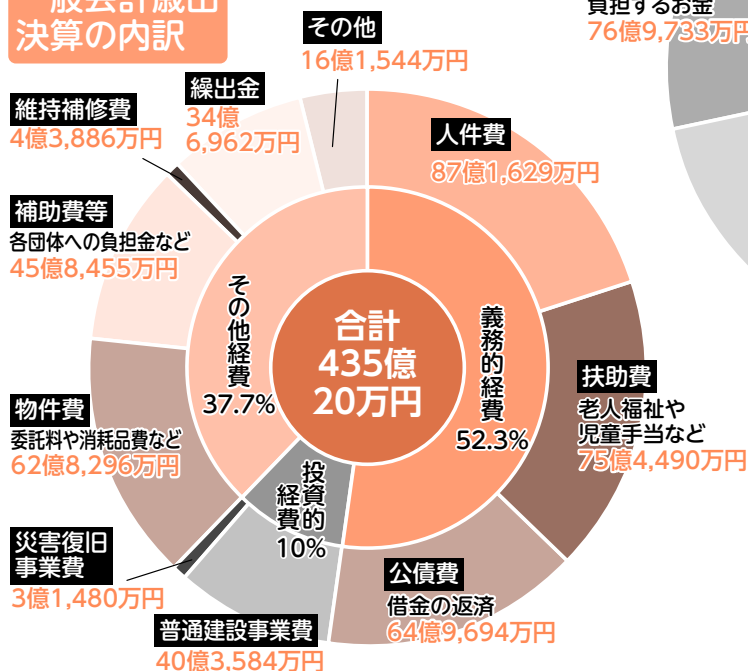
○印は賛成、×印は反対。なお、北出議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛・反対	議決結果	赤堀久美	嶋岡壯吉	田中覚	福岡正康	福田香織	森川徹	生中正嗣	上田宗久	近森正利	中井洸一	中谷一彦	百上真奈	田山宏弥	森正敏	空森栄幸	前田孝也	岩田佐俊	安本美栄子	中岡久徳	森岡昭二	
平成27年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	19:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	19:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	19:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	19:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員賛成で認定した議案																							
平成27年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定																							
平成27年度伊賀市病院事業会計決算の認定																							
平成27年度伊賀市水道事業会計決算の認定																							

平成27年度決算 気になる私達の税金の使いみち

一般会計歳入歳出差引残額
13億6,898万円
うち実質収支10億4,308万円
(翌年度へ繰り越すべき財源3億2,590万円)

一般会計歳出 決算の内訳



討論

賛成

- 着地型観光「いがぶら」の発信は、観光立市を目指す伊賀市にとっては、スタートであり重要となる。また、健康の駅長の要請の是非、支所別のまつりの配分のあり方など29年度予算において考慮いただきたい。
- 税金を投入してのJCへの職員の参加は公平性に欠ける。休みを公休扱いにするなど、別の支援方法を考えてみてはどうか。
- ひきこもり対応を含め障がい者雇用やひとり親家庭の方々にアウトリーチが必要である。積極的に相手に接してもらいたい。
- 伊賀市の地域資源を最大限に活用した「伊賀ブランド」に対し、産業の活性化を図るため、更に協議を深め推進してほしい。
- 空き店舗を利用し、ターン・ウターンを目指す若者や子育て世代の方々に、開業の後押しができる施策を継続していただきたい。

反対

- 地域格差と高齢化が進む中で、市民が求める公共交通、暮らしと命を守る交通政策について進展がなかった。
- マイナンバー制度導入は、個人情報の一元管理を強引に進めるものであり情報漏えい等の課題が多い。

質疑

- 問** あけぼの学園高等学校とのコラボ商品「ナノン」の宣伝方法は。
- 答** 県外での食材フェアへの出展や、生徒がスーパーで商品の説明をしています。
- 問** 公園を安心して利用していただくために、犯罪抑止のための手立てが必要ではないか。
- 答** 直接的な管理のみをおこなっていますが、防犯上の安心・安全についても考えていかなければなりません。
- 問** 小・中学校へ公共交通機関を利用して通学している児童・生徒の通学費の自己負担の不平等についてどのように考えているのか。
- 答** 通学のあり方検討委員会を設けて検討していきます。

市民病院の経営状態は

依然厳しい状況ながらも経営改善進む

前年度と比べて入院収益24.1%増(収入)

患者数の増加に伴う薬品等の材料費12.0%増(支出)

- 一般会計からの繰り出し金は、前年度12億4,383万円から8億5,012万円に。うち赤字補填^{ほてん}である財政健全化対策補助金の額は、3億9,600万円
- 累積赤字は10億108万円
その内訳は「当年度未処理欠損金」2億2,353万円と「前年度繰越欠損金」7億7,755万円
※補填・不足部分を補って埋めること

なぜ?



議会は「現南庁舎の取り壊し」を決議

賑わい創出検討協議会も「**主案**」*解体なのに

利活用方針は**改修・活用??**

※副案あり(5ページ参照)

賑わい創出施設整備基本計画策定業務委託料(1,217万2千円)を削除する議員発議を提出

発議に対する討論

賛成

議会は市長に対して南庁舎の解体を前提として伊賀市の賑わい創出に向けた現庁舎地の利活用に関する提言書を提出した。また、市が設置した伊賀市の賑わい創出検討協議会の最終報告も主案として現庁舎は解体をし、図書館を含む観光施設という複合施設を建設するというものであった。これがまさしく民意であり市民総意であるとの判断の基に、市が今まで上程された南庁舎の保

存にかかる予算を全て修正削除する議決をしてきた。今回の補正予算も、南庁舎の保存を前提とした計画策定業務委託料であり、議会や検討協議会の提言が全く取り入れられていない予算である。

また、市長が今回の予算の上程理由の一つと述べられた、「合併特例債の活用の期限が切迫している」ということについて、この状況を作ったのはまさしく市長本人である。

賛成

平成27年2月に三重県建設技術センターに行き、改修費がどの程度必要かを調査した。しかし、構造的に今のままで耐えうるかどうかは分からない。図書館として利用する場合は床の構造計算をしなければ分からないとの回答であった。

また、示された賑わい創出施設整備基本計画は、現庁舎を再利用するという前提で予算が組まれており、解体をする場合の予算が全く提示されていない。

反対

7月17日に東京にある国立西洋美術館が世界遺産登録をされたが、登録をされる以前とそれ以降では現南庁舎の位置づけが違う。世界遺産登録をされた建物を設計された方の弟子が設計したこの建物の存在だけでも伊賀市の賑わい創出の核、起爆剤になる。この建物を利用し、さまざまな検証をした上で、市民の皆さんに示し、判断をいただくということで政治に参加をしていただく考える。

算(1,217万2千円)を**修正削除**
可決

9月1日～27日(会期 27日間)
補正予算や条例の改正などを含む
45件の議案と請願5件を審議

賑わい創出施設整備基本計画策定業務委託料 1,217万2千円

「現南庁舎を、核となる新図書館を含めた
複合化施設へリノベーション」するための基本計画

これまでの経緯

平成27年9月

- 25日 **伊賀市議会**
今後の賑わい創出に向けた現庁舎地の利活用等に関する決議

平成28年3月 **市長へ提出**

- 17日 **伊賀市議会**
「伊賀市の賑わい創出に向けた現庁舎地の利活用等に関する提言書」
- 22日 **伊賀市の賑わい創出検討協議会**
「伊賀市のにぎわい創出グランドデザイン」

議会と賑わい創出検討協議会が示した内容

	議会	賑わい創出 検討協議会
①南庁舎の扱い	解体	[主案]解体 [副案]改修・活用
②施設の規模	コンパクト	約6,000㎡
③導入する機能		
芭蕉翁記念館	△	×
忍者関連	△	×
図書館	×	○
観光案内、情報発信等	○	○
物産・伝統工芸品販売、 カフェレスト等	△	○
美術展示ギャラリー	×	○

※ △は複数案のうちの一つ

市が示した利活用方針*

- 現南庁舎の扱いは
→ **リノベーション(改修・活用)**
- 施設の規模は約6,000㎡
- 来館者予想は1年間で55万人!
 <導入する機能>
 - 交流型の新図書館(核機能)
※現上野図書館 来館者数 9万3千人
 - 忍者関係施設
 - 物産販売
 - 美術展示
 - 観光案内、情報発信
 - カフェレスト
 などの複合施設

※伊賀市の賑わい創出に向けた庁舎移転後の利活用方針

9月
定例会

賑わい創出施設整備基本計画策定予
修正部分を除く一般会計補正予算は

債権管理条例の制定

平成28年12月1日から



債権管理に関する統一的な処理基準を定めます

これまで市の債権管理に関し、統一的な処理基準がなく債権回収が不十分であったことから、台帳の整備、債務者に関する情報、滞納処分、強制執行、債権の放棄等を規定するものです。

質 疑

問 □座振替やコンビニ収納など、納付機会を拡大する方向だったが、現状はどうか。

答 納付環境を整えることは大事ですが、債権管理課ですぐに一体化できるものではなく、各所管課で推進していきます。

問 県税との情報の連携は。

答 収納部門は連携しています。

問 多重債務と納税との連携についての仕組みはどうか。

答 条例のキーワードとして、情報の共有、市の債権放棄、徴収停止など適正な管理を行います。

討 論

反対 条例制定のメリットとして、各課の債権情報が共有できることや、「徴収不可能になっている部分は債権放棄ができること」という説明があったが、滞納額が増え、今も私債権が増え続けている理由については納得できる説明がなかった。滞納者になぜ払えないのかを丁寧に聞き取りし、多重債務の解消と過払い金を納税に結びつけ、生活再建型の滞納整理に取り組むことを提案する。

地区市民センター条例の一部改正



上野東部地区市民センターを 旧上野商業高校跡地(伊賀市緑ヶ丘東町920番地)に移転

体育施設条例の一部改正

平成29年4月1日から



上野運動公園体育館、 伊賀上野武道館弓道場を廃止し、旧上野商業高校跡地に移転

施設名	移転(新設)先
市民体育館(移転)	伊賀市緑ヶ丘東町920番地
市民多目的広場(新設)	
市民体育館管理棟(新設)	
市民弓道場(移転)	伊賀市緑ヶ丘東町1377番地1

質 疑

問 上野運動公園体育館は、小田地区の避難所になっているが、今後はどうするのか。

答 伊賀上野武道館を避難所とする方向で地区と協議をしています。



上野運動公園体育館

■上野歴史民族資料館の設置及び管理に関する条例の廃止

上野歴史民族資料館条例廃止にストップ!! 立地場所を活かした未来像を明確に

賛成少数で

否決

公共施設最適化計画に基づき、資料館の機能を他の施設に移転し、現施設は民間等に貸付売却する方針のため条例を廃止しようとするものです。

質 疑

問 閉館後の資料は、柘植と大山田の資料館へ分散して展示するのか。

答 現在2,168点の資料が現存しています。現施設3階のバックヤードに大半を収蔵していますが、全てを柘植と大山田の資料館へ持っていくのは不可能ですので、廃校舎への保管を検討しています。

問 市内の小学校が社会見学に行く場合がある。柘植や大山田以外の場所で特別展示等を行う予定はあるのか。

答 柘植や大山田の資料館へ行っていただくこととなります。ただし、民具については学校へ貸出すことも可能です。

問 柘植の資料館が耐震不足であるということは、いずれ廃止となり大山田のみとなるが、そうなると資料があふれてしまうのではないのか。

答 稀な資料は大山田で展示し、その他の資料は廃校舎で保管したいと考えています。

討 論

反対

- 柘植の資料館についてもいつまで存続できるかわからない状況であるなど、閉館後の代替案が脆弱すぎる。
- 観覧ではなく保管が主となっている資料館を今後どうするのかのビジョンを示すべき。



■国民健康保険診療所条例の一部改正

平成28年10月1日から

賛成多数で

可決

山田診療所、 週4日(火曜日～金曜日)から 週2日(火曜日・水曜日)診療へ

これまでの診療実績等を勘案し、診療日を見直し、効率的な運営を行うため診療日等を変更するものです。

質 疑

問 赤字解消の試算は。

答 平成27年度は約1,900万円の赤字でしたが、人件費等の抑制により平成28年度は半年で約350万円の赤字削減が見込まれます。

問 縮小するという説明に当たって、住民の意見は。

答 整形外科診療がなくなったためやむを得ないとのことでした。

■職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正

公布の日から

全員賛成で

可決

職員のハタラキカタを応援 介護休暇を見直しました

- ・介護期間を「6ヶ月」から「3ケ年」に
- ・6ヶ月を超える介護休暇の間は給与を支給しない。
- ・退職手当の算定基礎となる勤続期間に6ヶ月を超える介護休暇期間を通算しない。



請願

全員賛成で
採択

【件名】伊賀鉄道の利用者を増やす 制度制定を求めること

【請願者】 松原美省 外9名

【紹介議員】 嶋岡壯吉、森川 徹、生中正嗣、中井洸一、
中谷一彦、田山宏弥、森 正敏、空森栄幸、
岩田佐敏、中岡久徳、森岡昭二

要旨

伊賀鉄道は、現在伊賀市の支援を受けて維持存続している市民にとって重要な公共交通機関です。この伊賀鉄道の利用客を増やして、鉄道業務を盛んにすることは、市全域の賑わいを創出するかなめです。

せっかく市の財政を投入して経営を維持している伊賀鉄道の利用について、市内の後期高齢者の市民に乗車無料パス(仮称)を交付する制度を制定して下さるようお願いいたします。パスの交付を希望する申請人は顔写真とパス作成実費を添えて申し込むこととすれば、本制度施行に伴う特別予算財源措置は原則不要と思料します。

全員賛成で
採択

- 【件名】
- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めること
 - 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること
 - 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の充実を求めること
 - 防災対策の充実を求めること

【請願者】 伊賀市PTA連合会

会長 奥野義生 外2名

【紹介議員】 近森正利、中岡久徳、森岡昭二

関係機関へ意見書を提出しました。



意見書

全員賛成で
可決

無年金者対策の推進を求める意見書

政府において、必要な財源の確保を含め、安心の社会保障の実現を図るため、早急に次の事項について取り組むことを強く求める。

- 1 無年金者対策は喫緊の課題であることから、年金の受給資格期間を25年から10年に短縮する措置について、2017年度中に確実に実施できるよう必要な体制整備を行うこと。
- 2 低年金者への福祉的な措置として最大月額5,000円(年60,000円)を支給する「年金生活者支援給付金」等については、財源を確保した上で、できるだけ早期の実施をめざすこと。

■提出先 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

全員賛成で
可決

「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書

政府において「同一労働同一賃金」の一日も早い実現のために次の事項について躊躇なく取り組むことを求める。

- 1 不合理な待遇差を是正するためのガイドラインを早急に策定するとともに、不合理な待遇差に関する司法判断の根拠規定を整備すること。
- 2 非正規雇用労働者と正規雇用労働者との不合理な待遇差の是正並びに両者の待遇差に関する事業者の説明の義務化などについて関連法案の改正等を進めること。
- 3 とりわけ経営の厳しい環境にある中小企業に対して、例えば非正規雇用労働者の昇給制度の導入等の賃金アップや処遇改善に取り組みやすくするための様々な支援のあり方についても十分に検討すること。

■提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

審議した議案と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。なお、北出議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成・反対	議決結果	赤堀	嶋岡	田中	福岡	福田	森川	生中	上田	近森	中井	中谷	百上	田山	森	空森	前田	岩田	安本	中岡	森岡
			久美	壯吉	覚	正康	香織	徹	正嗣	宗久	正利	洸一	一彦	真奈	宏弥	正敏	栄幸	孝也	佐俊	美栄子	久徳	昭二
市長提出議案	平成28年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)(①を除く)	18:2	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊賀市債権管理条例の制定	19:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊賀市国民健康保険診療所条例の一部改正	17:3	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	上野歴史民族資料館の設置及び管理に関する条例の廃止	5:15	否決	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
議員提出議案	議案第137号 平成28年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)に対する修正(①)	19:1	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員賛成で可決(同意、採択を含む)議案																						
請願	伊賀鉄道の利用者を増やす制度制定を求めること																					
	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めること(第32号)																					
	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること(第33号)																					
	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること(第34号)																					
	防災対策の充実を求めること(第35号)																					
市長提出議案	平成28年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)																					
	平成28年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)																					
	平成28年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																					
	平成28年度伊賀市病院事業会計補正予算(第1号)																					
	伊賀市障がい児就学指導委員会条例の全部改正																					
	伊賀市議会議員及び伊賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び伊賀市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部改正																					
	伊賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正																					
	伊賀市体育施設条例の一部改正																					
	伊賀市地区市民センター条例の一部改正																					
	伊賀市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正																					
	伊賀市健康づくり推進条例の一部改正																					
	財産の無償譲渡(桐ヶ丘多目的集会所、桐ヶ丘第二集会所、上ノ代集議所)																					
	定住自立圏形成協定の締結(笠置町)																					
	定住自立圏形成協定の締結(南山城村)																					
	議員提出議案	伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議																				
伊賀市・名張市広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議																						
人権擁護委員候補者の推薦(宮田茂一氏)																						
無年金者対策の推進を求める意見書の提出																						
「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書の提出																						
意見書の提出(請願第32号～第35号採択による)																						

■平成28年7月29日臨時会を開催 2議案を審議し、可決(同意を含む)

新庁舎整備のための土地の取得を可決

取得地積 16,135㎡(伊賀市四十九町字鍋沢3183番1ほか9筆)
取得金額 3億1,561万7千円

賛成多数で
可決

質疑

問 庁舎が移転すると、中心市街地に暮らす高齢者等への行政サービスが低下すると思うが、その対策は。また新庁舎へのアクセスは。

答 行政サービスの低下を招かないように、上野支所の窓口の充実を進めていきます。また、アクセスについては、来年度、伊賀鉄道に庁舎最寄り駅として四十九駅を整備するとともに上野コミュニティバス「しらさぎ」の運行ルートに新庁舎停留所を加えていきます。

討論

- 賛成**
- 政策決定における市民合意について、これまで以上に丁寧に説明してほしい。
 - 土地の取得費用の他に土地の造成費用が概算で2億2,000万円という説明があった。この予算を超えないよう鋭意努力してほしい。
- 反対**
- 事業認定の取り消しを求める審査請求や土地取得の差し止めを求める住民監査請求が提出されている。その結果を待って判断するべき。

各議員の賛否一覧

○印は賛成、×印は反対。なお、北出議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成・反対	議決結果	赤堀	市川	嶋岡	田中	福岡	福田	森川	生中	上田	近森	中井	中谷	百上	田山	森	空森	前田	岩田	安本	中岡	森岡
			久美	岳人	壯吉	覚	正康	香織	徹	正嗣	宗久	正利	洸一	一彦	真奈	宏弥	正敏	栄幸	孝也	佐俊	美栄子	久徳	昭二
市長提出議案	土地の取得	14:7	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	
	監査委員の選任(鈴木陽介氏)	全員賛成	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議会活動の報告

所管事務調査（行政視察）

総務常任委員会

8月1日（月）～3日（水）

● 静岡県掛川市 指定管理者制度

（「運営」から「経営」への発想転換）

● マニフェスト・サミット2016（東京都中央区）

政策で勝負する議会へ

～地域課題を解決する議会とは～

公民連携による 地域経営を目指して

掛川市は、指定管理者制度に民間の経営スタイルを取り入れ、市の関与を最小限にし、指定管理候補者からの提案をもとに利用者サービスの最大化に努めています。その結果、これまで赤字経営が続いていた掛川市周辺の公共施設は、一体管理によって独立採算となり期間の3年目からは指定管理料が0円になるとのことでした。



掛川市

伊賀市においても同制度のあり方は以前から懸案となっており、今後は市が施設の設置目的や将来的な計画を明らかにしたうえで、指定管理者による積極的な運用につなげていくことが重要であると考えます。

また、今回参加したマニフェスト・サミットは、マニフェスト型政治を推進する研修会であり、北川正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）をはじめとする有識者からの政策提言や先進自治体による事例報告のほか、参加した地方議会の議員間で意見交換を行いました。

これからの地域課題の解決には公民連携の視点が欠かせないことを再認識しました。そして、このような行政運営を押し進めるには委員会によるチェックの強化と所管事項の活発な調査研究が必要ですので、今後も議会機能の充実に向けて取り組んでまいります。

※マニフェスト：候補者が当選後に実施する政策を具体的に挙げ、実施時期と予算措置について明確に有権者に提示した事後検証可能な選挙公約のこと。

教育民生常任委員会

7月25日（月）～27日（水）

- 福岡県北九州市 介護支援ボランティア事業
- 大分県豊後高田市 学びの21世紀塾
- 山口県岩国市 コミュニティスクール推進事業
- 山口県周防大島町

周防大島文化交流センター（現地）

地域が子どもを育てる

北九州市は、65歳以上の方が、介護保険施設等でボランティア活動を行うとポイントがもらえる。そのポイントを換金または寄付することができる「介護支援ボランティア事業」を実施しています。この事業を通じて、高齢者の健康増進や生きがい



マニフェスト・サミット

づくりにつなげていきます。

豊後高田市は、教育のまちづくりを掲げ子どもたちが無料で利用できる「学びの21世紀塾」事業として、土曜日や放課後を活用し学習や体験活動事業を行っています。多くの地域住民が講師となりボランティアとして支えながら、子どものニーズに合わせて事業を広げ、小中学校の学力が県内トップレベルとなるなど、10年以上にわたる取り組みが成果となって表れています。



豊後高田市教育委員会提供 いきいき土曜日事業（寺子屋プラチナ館）

岩国市は、全ての小中学校でコミュニティスクールが設置され、地域が積極的に学校運営にかかわり、学力向上と子どもたちの健全な成長のために取り組んでいます。また、山口県南東部に位置する「周防大島文化交流センター」は、小中学生を対象とした体験学習を通じ、未来を担う創造的な人の育成を目指した施設となっています。

今回の視察では、高齢者が生きがいを見つけることが介護予防になること、地域が積極的に子どもを育てていくことの重要性を再認識しました。本市の福祉、教育分野においても地域を巻き込む事業展開につなげていきたいと考えます。



岩国市

- 大分県日田市 中心市街地地区都市再生整備計画
美しいまちなみ大賞受賞地区(現地)
- 熊本県水俣市 村丸ごと生活博物館推進事業

三つの元気で村づくり！

日田市は、中心市街地地区において、歴史・観光を切り口に豊かで特色ある地域資源を活かした賑わい創出に向けて、都市再生整備計画を策定しました。



日田市 豆田歴史交流館

中心市街地はそれぞれ異なった環境を持つ「商業・文化の拠点地区」、「歴史的たずまいの溢れる地区」、「温泉旅館の立地地区」の三つの区域で形成されています。これらの区域への回遊を図るため、街独自の魅力前面に出し、総合的なまちづくりに取り組んでいます。

また、国土交通省の「美しいまちなみ大賞」を受賞した、豆田地区を視察し、商人の町として栄えたこの地区の町並みに不思議な魅力を感じました。

水俣市は、「自然」と「生産」と「暮らし」がつながり常に新しいものをつくり出すことを目的に「元気づくり条例」を制定しています。そして、まちと村の交流により「人」、「地域」、「経済」の三つの元気がそろって元氣な村づくりに取り組んでいます。市が地区を、村丸ごと生活博物館として指定

し、「ここには何も無い」ではなく地域の「あるもの探し」をする生活学芸員や漬物・野菜づくり・木工など様々な生活技術を持つ生活職人を認定しています。そのほか、地区を案内する「村めぐり」、家庭料理を味わう「食めぐり」、各種体験をする「ぞわめぐり」などのおもてなしで、誘客の促進や地域の活性化を図っています。



水俣市

このような切り口を変えた誘客促進を参考に、伊賀流のおもてなし方法の仕組みづくりに役立てていきたいと思えます。



研修会

伊賀市・名張市議会連絡協議会

7月29日(金)

政務活動費の正しい使い方を学ぶ

伊賀市・名張市議会連絡協議会の議員研修会が開催され、両市の議員36人が参加しました。

この研修会は毎年開催されており、本年は、近畿大学法学部教授の辻陽氏(つじあきら)を講師にお招きし、「議員と政務活動」地方議員に求められる役割は」と題した講演を受けました。

「政務活動費」は、議員が行う調査研究などの活

動に必要な経費の一部として支給される費用で、平成24年の地方自治法の改正により、調査研究活動のほか、住民相談等にも充当できるようになりました。

政務活動費の活用方法は、

- ①一般質問に活かすための視察、文献調査、住民アンケートの実施
- ②住民との情報交換や法的文書作成のための書籍購入
- ③市民への広報活動や住民からの相談受付のための諸費用など

使い途はいくらでもあるとのことでした。

また、最近の政務活動費の使途を巡っての事例を織り交ぜながら、大変わかりやすい講演でした。

伊賀市におきましては、政務活動費の交付に関する条例、規則で規定するほか、支出範囲を具体的にまとめた「政務活動費の手引き」に基づき支出を行っています。この手引きは市議会ホームページでご覧になることができます。

今後は、住民の福祉の増進に向けた政策提言に結び付けていくために政務活動費を有効に活用するとともに、情報公開を促進し、その使途の透明性を確保する事が重要であると再認識しました。





ここが聞きたい

市政を問う



一般質問

一般質問は、9月8日、9日、12日の3日間で、14人の議員が市の諸問題について質問をしました。

福岡 正康 議員

質問項目

●市長在職中の実績と当面の市政に対する考え方



問 合併特例債の残額110億円で支所の整備等含む拠点整備が実施できますか

合併特例債起債可能額428億円のうち、今までに315億円利用され、上野支所エリアは260億円、郡部は35億円、エリアが特定できないのが20億円であります。新庁舎費、南庁舎跡地整備費、図書館、芭蕉翁記念館、し尿処理施設、給食センター、新居小学校新設工事費等を考えると、残額の約110億円で、公共施設最適化計画の第一期計画である支所等の拠点整備を合併特例債で実施することができませんか。上野支所管内の整備を優先的に実施し、その残金で拠点整備を実施するつもりなのではないですか。優先順位をお伺いします。

答 優先順位は、大事な課題から実施していきます

支所等を含めた拠点整備は、今まで、上野支所を含めた6支所を平等に扱ってきました。これからすべて平等に扱って一つの伊賀市を作っていきます。

安本 美栄子 議員

質問項目

●地域福祉政策と市民参加はなぜ必要か
●指定管理者選定委員会のあり方



問 地域包括ケアシステムの方向性は

未曾有の少子・高齢化、人口減少社会は、国の形や市、地域も変え、市民にも意識変革をもたらす事になります。伊賀市地域福祉計画では、新しい形の自助、互助、共助、公助がうたわれています。

「すべての市民が住みなれた地域で安心して人生の最後まで暮らせるまちづくり」を理念とした地域包括ケアシステムのめざす姿をお尋ねします。

答 人・ネットワークの構築をめざします

住まい、健康づくり、高齢者介護サービス、子育て、障がい者支援、地域医療が一体的に提供される連携のしくみを強化し、地域全体で個人・家族の生きがいが高められる人・ネットワークの構築をめざします。

さらに、自助、互助、共助のしくみとなる家族の力、地域の力を高めるため、地域包括支援センターに地域福祉コーディネーター（社会福祉協議会の職員）を配置し、相談支援コーディネーター機能を強化していきます。

田中 覚 議員

質問項目

●岡本市政4年間の総括と地域経済の振興



問 先送り重要課題の解決とこれからは

岡本市政4年間、今のままではあかんやろ」と伊賀市の再生に取り組まれました。その実績は市長給与の20%減額をはじめ市民と伊賀市の危機感を共有され、同時に、先送りされていた重要課題の解決をされました。別表参照。大いに評価されるものでしょうか。

しかし、情報発信力が弱く、また現役世代への投資が少ないと言えらるのではないのでしょうか。

答 しっかりとやらねばなりません

教育、つまり未来への投資として、学習環境を整備するため、社会福祉士を教育現場に配置することとしました。また教職員の負担の解消のため、環境整備にも取り組みたいと考えています。同時に先人の遺産の継承はもちろん、多世代の交流の場を提供しなくてはなりません。郷土教育についても未来への投資を考えています。

評価基準	社会資本整備				高齢者対策	少子化対策	投資	情報発信	今までのあかんやろ
	医療	防災	生活	環境					
市長報酬の減額	○	○	○	○					○
補助金の適正化	○	○	○	○					○
川上ダムの整備									○
遊水地の完成									○
河道掘削の推進									○
下水道(上野処理区)の整備									○
線引きの撤廃									○
伊賀鉄道の公有民営化									○
四十九新駅の開設									○
RDFごみ処理の早期収束									○
消防署の移転									○
市民病院の再建									○
医療の無料化(中学生)									○
保育の無料化(第3子)									○
新市役所の移転									○
校区再編									○

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

一般質問

嶋岡 壮吉 議員

質問項目

- 認知症
- 森林



問 認知症対策は

認知症にならないための対策及び平成29年3月に改正される道路交通法に対する高齢者の運転免許対策はどのようにしますか。

答 三つの対策を

認知症の代表的なものに、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症があり、この三つで全体の8割を占めています。認知症を予防するためには、生活習慣病の予防、適度な運動習慣、人との交流や趣味を楽しむことが有効です。

認知症と判断され、運転免許証の停止か取り消しとなった場合、地域で支えていただけるよう行政においてもバックアップしていきます。

問 森林の保護は

ナラ枯れの現状と今後の防止対策について伺います。

答 伊賀市森林整備計画を推進していきます

ナラ枯れの場所は点在しており、一度に処理及び防除するのは難しいです。現在進めている計画を確実に森林全体に進めていきます。

※改正道路交通法(一部)：75歳以上の高齢運転者が

- 認知機能が低下したときに起こしやすい違反をした場合「臨時認知機能検査」
- 認知機能が低下している恐れがあると判断された場合「臨時高齢者講習」

- 認知症が認められた場合「免許取り消し、または停止」

福田 香織 議員

質問項目

- 上水道の濁水事故
- 市民文化施設の後設の成果
- 市政の成果



問 水道の断水・濁水事故の際の対応は

7月14日に発生した約2500戸の断水・濁水事故での住民周知や給水活動に関する反省点について伺います。

答 日常の体制を強化していきます

事故区域への事情説明の際に、「広報車の声が届き取れなかった」「給水車の情報が行き届いてなかった」等のご指摘を受けました。今後は、施設の監視強化、迅速に事態を知らせる広報活動と給水車の出動を直ちに行う体制を整えます。

問 市長の海外での公務は

市長は伊賀の魅力発信のため、相当な経費をかけて、アメリカシアトル、イタリアミラノ、台湾、シンガポールなどへ行かれています。アメリカやEU加盟国へ伊賀牛を輸出する場合は、ハサップという衛生管理手法をクリアしなければなりません。ご理解の上で海外に行かれたのでしょうか。

答 知らなくて商売は出来ません

厳しい条件を課せられるため、今の伊賀市の施設ではクリアできません。近隣にハサップ仕様の施設ができてきたため、広域的な課題は残りますが、有効に利用していく方がいいと思います。輸送にかかる経費のサポートや解体して帰ってきた枝肉等を保管する冷蔵庫の配置などが、これからの畜場整備と考えます。

岩田 佐俊 議員

質問項目

- 市民にとって安心・安全な市政になっていきますか
- 青少年健全育成への取り組み



問 安心・安全な避難所になっていますか

小田地区内の避難所の中には、県が急傾斜地崩壊危険箇所指定した区域内に入っている避難所がありますが、早急に解除すべきではありませんか。

答 抜本的な見直しの必要性があります

地区内で賛否両論がありますが、県に災害防止法に基づく調査の要請をしたいと考えています。

問 通学路の道路標示の管理は

通学路の道路標示が消えているところがあります。認識されていますか。命にかかわる事ですので各機関への働きかけを頻繁に行ってください。

答 各学校から報告を受けています

道路標識については、公安委員会が管理していますが、強く申し入れを行います。

問 子どもたちの凶悪犯罪防止のための取り組みは

中学生が殺人罪で逮捕されるという衝撃的な事件がありました。学校での取り組みについて教えてください。

答 ライフスキル教育に取り組んでいます

十年前から、日々の困難を乗り越えて生きる力をつけるために取り組んでいます。教師が生徒に問題提起をして一緒に考える取り組みを行っています。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

一般質問

近森 正利 議員

質問項目

- 障がい児・障がい者への取り組み
- 伊賀市いじめ防止基本方針
- 災害時危機管理
- に役立つ被災者支援システム
- スマートフォンアプリを活用したごみ出しルールの周知



問 災害時の危機管理に役立つ被災者支援システムの活用を

阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受けた兵庫県西宮市が開発した被災者の状況を的確に把握し、迅速な対応が可能になる「被災者支援システム」の導入が必要であると思いますがどのように考えていますか。

答 導入へ向け研究

無料で活用ができ、り災証明の発行や避難所からの緊急物資連携、仮設住宅の管理機能があり、大変有効ですので調査研究します。

問 スマートフォンアプリを活用したごみ出しルールの周知を

現在、ごみ出しカレンダーとガイドブックを見ながらごみ出しをしておりますが、スマートフォンアプリの導入を提案します。

答 検討します

スマートフォン の普及により、多様な世代に利用され時間や場所にとらわれず必要な情報を入力出来るツールです。市民の皆様にとって有効で利便性の向上に期待できるSNSの活用を促進していきます。

アプリの例

- ・ごみ出し日お知らせアラーム
- ・ごみ分別辞典
- ・ごみの日カレンダー

森岡 昭二 議員

質問項目

- 人口減少に歯止めをかける対策
- 水道事業
- 防災対策
- 障がい児・障がい者施策の充実
- 公益財団法人芭蕉翁顕彰会との関係



問 二次災害を防ぐためのチェックは

昨年11月に伊賀市地域防災計画の修正が図られました。まちづくり協議会等への具体的な説明が全くないままに今日までできています。どうしてですか。

また、災害が起きた場合に、二次災害を防ぐために避難所の点検等について伺います。

答 被災建築物応急危険度判定士がチェック

平成27年に地震対策編で修正しました内容を、地元の方に説明させていただかなかった点についてはお詫び申し上げます。

避難所の点検等は、被災建築物応急危険度判定士が行います。市職員7人を含め、伊賀市全体の登録者数は91人となっています。また、伊賀市、名張市、三重県建築士会伊賀支部の三者での協定に向け取り組んでいます。

百上 真奈 議員

質問項目

- 住民の生活とこれからの水道事業
- 子ども医療費窓口無料と就学援助の改善
- 小学校給食の大規模センター化とPFI方式導入



問 ダム利水で水道料金は上がらないのか

各地の浄水場を廃止してゆめが丘浄水場に一元化する水道計画は、複数水源の利用を明記した国の新水道ビジョンに反しています。今後、ダム利水による財政負担で水道料金は上がりませんか。

答 15年間は上がりません

各水源の取水が不安定なため、施設を統廃合してダム利水に移行したいと考えます。

問 伊賀市単独事業での「子どもの医療費窓口無料」はいつから

伊賀市は子どもの医療費窓口無料化を決めました。いつから始まりますか。また、対象範囲は中学校卒業までにしてください。

答 来年(平成29年)の4月は無理ですが、なるべく早く実施できるようにします

問 入学前に入学準備金支給を

就学援助の入学準備金が7月支給であるため、入学準備金を立て替えることが重い負担となっています。8月支給にしてください。

答 中学校に進学する受給児童について、適切な時期に支給します

一般質問

前田 孝也 議員

質問項目

- 伊賀南部クリーンセンター火災対策
- 総合評価方式による一般入札
- 伊賀市災害廃棄物処理計画



問 伊賀南部クリーンセンターの管理体制は

伊賀南部クリーンセンターは、名張市及び伊賀市のゴミ焼却を行い、市民生活においても重要な役割を果たしています。

しかし、これまで幾度も事故や火災が起きています。8月31日に発生した火災事故の原因や管理体制についてどのような協議をされましたか。

答 再発防止のための取り組みを

この火災で、名張市消防本部及び伊賀市消防団を含めて、出動した消防車両は、のべ70台、出動人員は3日間で、のべ263人でした。消防本部では、現在、現場検証をして出火原因の特定を進めていますが、再発防止のため、次の点について指導しました。

- 1 火災発生時は、直ちに消防署に通報
- 2 消防訓練の実施
- 3 ごみの分別について、市民への広報及びクリーンセンター職員・収集業者に再確認の徹底
- 4 火災発生時には水量不足となるため、防火水槽の増設
- 5 ピット内に搬入するごみを適量にする

森川 徹 議員

質問項目

- 消防行政の今後のあり方
- 伊賀市消防団の今後のあり方



問 消防広域化の現在の進捗状況は

三重県では、平成18年に消防広域化推進計画が示されたことに伴い消防広域化の議論がなされてきました。当時から伊賀・名張地域の広域化の議論がありましたが現在の進捗状況を伺います。

答 県の応援も得ながら進めてまいります

平成20年3月に「伊賀ブロック広域消防運営計画策定委員会」を設置し協議を進めてきましたが、多くの課題の調整に時間を要し、実現に至りませんでした。その後、国の基本指針の一部改正を受け、協議の再開を名張市に申し入れましたが返答をいただけておりません。

しかし多様化・大規模化する災害に対応するための現場活動要員の充実や特殊車両の整備が可能となるなど市民の安心・安全につながるものであることから、今後も協議を進めるよう努力してまいります。また、一部事務組合の考え方だけではなく他市の事例も参考にしながら機能別広域化も視野に入れ、県とも調整しながら広域化を進めてまいります。

生中 正嗣 議員

質問項目

- 市長就任4年間の施策
- 支所のあり方
- 小・中学校廃校舎の利活用



問 勇気と覚悟で取り組まれた施策は

市長就任後、勇気と覚悟で取り組んだ事業、施策は何ですか。

答 新庁舎建設計画、公共施設の最適化、校区再編計画が主な事業です

「成すことは成す」が勇気と覚悟の原動力でした。不転換の決意で取り組んだ施策は種々あります。

問 南庁舎の保存改修の考えは

今議会にも保存に係る補正予算を上げしていますが、議会の提言や伊賀市賑わい創出検討協議会の答申を無視していませんか。

答 是非ご検討を

賑わい創出のための南庁舎利活用に係る調査・計画の費用ですので、是非検討してください。

問 支所のあり方についてのお考えは

「小さな本庁、大きな支所」と言われてきましたが、今後の支所のあり方はどうあるべきですか。

答 6支所が決してベストではありません

支所が権限や財力を持つと言ったことは変わりませんが、今後新しいエリアを見据えながら、時間をかけて熟議を重ねて行くことが必要です。

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- 伊賀鉄道伊賀線の※公有民営化に向けたスケジュール
- 水道管整備
- 庁舎移転後の利活用方針



問 伊賀鉄道の収入増加に帰する施策は

伊賀鉄道の公有民営化に向けた収支シミュレーションは10年間で18億4500万円が必要で、市民全体で支え、収入増加につなげるために、どのような施策を考えていますか。

答 「損して得とれ」の手法です

公有民営方式で伊賀鉄道を経営するにあたり、利用者増加のため、定期券利用者や高齢者へのサポートだけではなく、賑わいを作りこの町に来ていただけるような持続的な施策を考えていきます。

問 市が管理する水道管のうち、耐用年数40年を越えた老朽管の更新計画は

答 順次整備します

市が管理する水道管は全長1370キロメートルです。そのうち老朽管は80キロメートルで、全体の6%を占めています。すでに30キロメートルは更新が済んでいます。平成29年度からの15年間の新たな水道基本計画では、施設等の更新費用として約122億円(毎年8億円)を見込んでいますが、計画に沿って進めていきます。

※(伊賀鉄道の)公有民営方式：現在、近畿日本鉄道(株)が保有している鉄道施設及び伊賀鉄道(株)が保有している車両を市に譲渡することにより、市が第3種鉄道事業者となり、市はこれらを第2種鉄道事業者である伊賀鉄道(株)に無償貸与して運行するもの。市が第3種鉄道事業者となることで、国からの補助等がつけられる。

森 正敏 議員

質問項目

- 岡本市長のマニフェストに対する自己評価
- 伊賀鉄道伊賀線の公有民営化
- 高齢者対策
- リニア中央新幹線の誘致



問 今がチャンス！リニア停車駅の誘致を

リニア中央新幹線が伊賀市を走行する可能性が出てきました。JR東海の社長が「国の整備計画が基本、それに沿って三重・奈良ルートで整備を進めると明言されたからです。今がチャンスです。首都機能移転と併せて伊賀市に駅設置のPR活動をするべきだと考えますがいかがですか。

答 畿央高原が最適地です

伊賀市には、畿央高原という広い国有地があり、ここにリニア中央新幹線の駅を誘致すべきだと思っています。県内では亀山市が有力というムードですが、伊賀市にはこのような有利な土地があるとの広報がますます必要だと考えています。リニア中央新幹線の効果をもたらすためには、国家プロジェクトとして全線同時開業を進めなければならないと考えています。

このチャンスを活かし、伊賀市の浮上を図れるよう強く訴えていきます。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

1月 議会報告会を開催

ご参加ください

市民の皆さんと情報や意見交換を目的とした報告会を行います。

ここでいただいたご意見等は議長に報告し、市行政に対する提言等で重要なものは市長に報告しています。また、各地区で開催された報告会の内容は市議会ホームページに掲載しています。

お住まいの地区に関わらず、どの会場にもご参加いただけます。

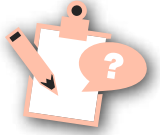
(平成28年10月20日現在)



開催日	時間	地区名	場所	議員名(◎班長)	班
1月12日(木)	19:30	上津	上津地区市民センター	◎中谷、赤堀、森川、空森	1
1月13日(金)	18:00	玉滝	玉滝地区市民センター	◎中谷、赤堀、森川、空森	1
1月18日(水)	19:00	府中	府中地区市民センター	◎百上、生中、前田、他1名	2
1月20日(金)	18:00	小田	小田地区市民センター	◎中谷、赤堀、森川、空森	1
1月28日(土)	10:00	上野南部	上野南部地区市民センター	◎森岡、福田、中井、北出	6

※出席議員が変更する場合がありますので、ご了承ください。

市議会広報委員がおじゃまします!



市議会だよりを身近に感じていただきたいという思いから、市民の皆さんが登場するコーナーを作りたいと始めたインタビューも第5弾となりました。今回は、桜丘高等学校のクイズ研究部とバイオサイエンス部におじゃましました。

さくらがおか

桜丘高等学校

(下神戸)

桜丘中学校からの中高一貫教育6年制コースがあり、中高合同でクラブ活動を行っています。

クイズ研究部

部員数:16人(中学生含む)

創設2年目、全国制覇を目指して

——クイズ研究部の活動について教えてください。
須田顧問:普段は教室に集まり、過去のクイズ大会で出題された問題を中心に、早押しクイズをして腕を磨いています。

——ボタンを押すのが早いですね。問題を読んでいる途中で押してますね。

高木部長:最後まで問題を聞けば誰でも答えがわかるので、1秒でも早く答えられるように過去の問題をできるだけ多く暗記しています。



クイズ問題集

——今年の「第36回全国高等学校クイズ選手権」に桜丘高校が出場したと聞きましたが。

高木部長:21世紀枠代表として2年生の木多さんと中島さんが出場しました。



(※地区大会を勝ち抜いた60校120人の高校生たちと競いながら東京からグアム島、アメリカ大陸へと渡り、準々決勝ベスト8まで勝ち進みました。)

——今年の高校生クイズで正解した問題の中で、一番心に残っている問題はありますか?

木多さん:グアム島行きをかけた1回戦での「4校早押しマラソクイズ」の問題が、趣味であるスキューバダイビングに関することだったので、誰よりも早く答えられて嬉しかったです。



——皆さん雑学も含めとても知識が豊富ですが、それ以外にクイズに必要なものはなんですか?

中島さん:早押しボタンを「押す勇氣」です。早く押さないと答えることすらできないので、自信をもって押すことが大事だと思います。



さらなる高みへ、全国レベルの活動をクローズアップ

バイオサイエンス部

部員数:9人(中学生含む)

興味をとことん、研究者の卵たち



水素自動車



——バイオサイエンス部ではどのような活動をしているのですか。

小林顧問:データ収集のための実験、三重大学での講義を受講、地元の企業等への見学などを行っています。また研究の成果について、中学生・高校生の学会等で発表・報告しています。

——今年度のテーマを教えてください。

中桐部長:今年は「水素発生細菌」の研究をすすめています。リンゴの中に存在する水素を発生する菌に着目し研究しています。



——具体的にどのような実験をしているのですか。

中桐部長:リンゴの搾りかすを使い、酵素を溶かした溶液で培養させ、どのぐらいの量の水素が発生するのか実験をしています。今は「サンつがる」と「ジョナゴールド」というリンゴの品種を使って実験していますが、今後はあと2種類の品種についても実験を行い、どの品種が一番水素を発生するのか調べていく予定です。また培養液の温度や酵素の量、pHなどの違いによって水素の発生量に変化があるのかどうかを調べています。



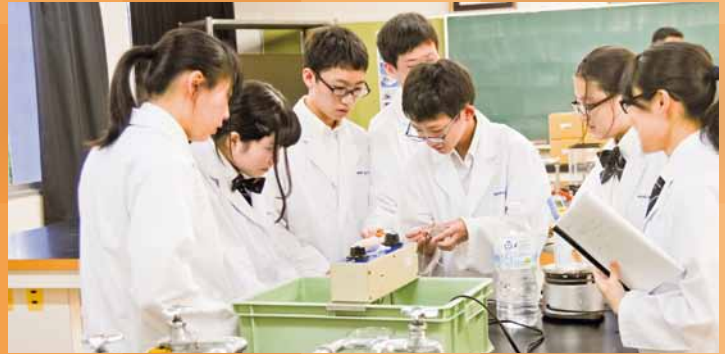
——今後の目標を教えてください。

中桐部長:最終的には「水素発生細菌」から発生させた水素を使って、燃料電池として活用したいです。



クラブ活動の様子

バイオサイエンス部



クイズ研究部



第36回全国高等学校クイズ選手権に出場

12月定例会の日程(予定)

1日(木)	本会議(開会)
8日(木)	本会議(一般質問)
9日(金)	本会議(一般質問)
12日(月)	本会議(一般質問)
13日(火)	本会議(一般質問)
14日(水)	予算常任委員会
15日(木)	予算・決算を除く常任委員会
16日(金)	予算・決算を除く常任委員会
22日(木)	本会議(閉会)

※本会議と予算常任委員会は午前10時から始まります。その他の各常任委員会の開催時間は、開会日に決定します。

※定例会の日程は、変更になる場合があります。

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴できます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前(土日祝除く)までに市議会事務局にお申し出ください。(対象となる会議…一般質問)
- 議場傍聴席に「磁気誘導ループ」を設置しています。

本会議・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。(再放送は午後7時から)本会議等は市議会議場又は、第1委員会室で開催します。

編集後記

常に議会と議員は伊賀市の今後を考え、委員会や会派において調査・研究を重ね、他市の良い取り組みをどのように取り入れ、進めればよいのかを考えています。

議会だよりは、その内容と成果をまとめ、市民の皆様にお伝えする役目を担っています。これからも中身の濃い広報となりますよう努力いたしますのでご期待ください。(嶋岡)

広報委員会

〈委員長〉近森正利 〈副委員長〉福田香織
 〈委員〉嶋岡壮吉 福岡正康 森川 徹 百上真奈 森 正敏

次号は2月1日です。

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報委員会

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を発行しています。希望される場合は、お問い合わせください。



郵送 〒518-8501 「伊賀市議会だより感想」宛
 TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp
 FAX 0595-24-7901 ホームページ http://www.city.iga.lg.jp